

2022年度創価大学糖鎖生命システム融合研究所  
共同利用・共同研究公募要項（共同研究費 応募資料）

本学では、これまで「糖鎖生命システム融合センター」として、設備の共同利用・及び共同研究に取り組んでまいりましたが、この度同センターを改組し、昨年1月より「創価大学糖鎖生命システム融合研究所」として、新たに開所いたしました。本研究所では、糖鎖生物学と糖鎖情報学が真に融合した新しい学術分野を創出することを目的とし、生命科学の進歩に貢献したいと考えています。

糖鎖は生命システムの全てに関与する重要な生体分子ですが、その解析方法や重要性は糖鎖研究者以外の生命科学研究者には十分に理解されていません。生命科学の進歩のためには、生命科学のあらゆる分野において、ゲノムやタンパク質と同様のレベルで糖鎖を解析・理解・利用する必要があります。

そこで本研究所では、この度体制を強化するとともに、これまで蓄積してきた糖鎖生物学と糖鎖情報学のデータベース及び機器・設備を活用し、国内外の多くの研究者ととともに実施する共同研究を募集します。

《募集内容》

1. 募集する共同研究について

- ・本研究所の研究者と共同研究を行っていただきます。
- ・本研究所の研究分野別紙（「共同研究応募資料」の「共同研究テーマ」参照）に関連した研究課題を、研究者各自が設定して申請してください。事前に本研究所の受入教員と十分な打合せを行ってください。（参照サイト：<https://www.soka.ac.jp/glycan/members/>）
- ・採用方針として「糖鎖の研究分野の裾野を広げる可能性の有無」に重点を置いています。
- ・申し込みに際し、研究代表者は所属機関の長（部局等の長も可）に共同研究の実施についての承諾を得てください。採択となった場合は、後日承諾書を提出して頂きます。
- ・学生が参加する場合は「共同研究者」ではなく「研究協力者」とします。

2. 申請資格者（研究代表者）

国内外の大学、公的研究機関に所属し、公益性の高い研究・教育を行おうとする研究者（学生は除く）、または本研究所所長が適当と認める者。

3. 共同研究費（予算配分および執行方法）

- ・研究代表者に対して採否および決定額を通知します。
- ・採択された研究代表者への予算配分は行わず、原則として共同研究で本研究所へ訪問するための旅費、および消耗品費を本研究費で賄う方法とします（上限 国内 10 万円、国外 20 万円）。
- ・旅費等の支払いは本学の関連規程等に基づいて行い、研究協力者（学生）の旅費は対象外です。
- ・消耗品は、1点または1組の取得価額が5万円未満の物、または耐用年数が1年未満の資産とならない物。原則的に同研究所内で使用する物に限ります。また消耗品の使用額は、国内外ともに上限 10 万円までです。

#### 4. 研究実施期間

採択日から年度末(2023年3月31日)までとします。

※継続を希望する場合、次年度に再申請し、承認されれば最長で合計3年度まで継続可能です。

#### 5. 申請方法

(1) 別紙の申請書(様式1)を記入の上、メールで提出してください。

(2) メールの題目には「共同利用・共同研究申請書」と記載してください。

(3) 提出期限 2022年4月30日(土)

(4) 送付先:創価大学糖鎖生命システム融合研究所事務室(理工学部事務室内)

メールアドレス:galsic★≡soka.ac.jp(★≡は@に置き換えて入力してください)

#### 6. 採否について(2022年5月27日(金)発表)

本研究所の審査委員会を経て採否を決定し、メールで申請者に通知いたします。また本研究所ホームページに採用者氏名・所属機関名を公表します。なお採択された研究課題名については、次年度末に本研究所のホームページにて、成果報告と共に公開しますので予め御了承ください。

#### 7. 採択後に必要な手続き

共同研究契約・・・共同研究実施に際し、共同研究契約を締結します。詳細は採用後に別途案内。  
承諾書(様式2)・・・決定通知後、2週間以内にメールでお送りください。

#### 8. 研究成果報告

共同研究者は、2023年4月28日(金)までに「研究成果報告書」(様式3A・B)を提出してください。様式3Aについては本研究所ホームページにて翌年度末に公表し、所報に収録いたします。

#### 9. 本研究による成果の発表

本研究の成果発表は、必ず本研究所による旨記載してください。

例(和文):本研究は創価大学糖鎖生命システム融合研究所共同研究費の支援を受けて実施された。

例(英文): This work was supported by the GaLSIC collaborative research fund, Soka University, Japan

#### 10. 問い合わせ先

本件に関する御質問、お問い合わせは以下までお願いいたします。

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

創価大学糖鎖生命システム融合研究所事務室(理工学部事務室内)

TEL:042-691-9400 FAX:042-691-9311

メール:galsic★≡soka.ac.jp(★≡は@に置き換えて入力してください)

### 1. 公募する共同研究テーマ

- (1) 糖鎖遺伝子(糖転移酵素・トランスポーター等)の機能に関する研究
- (2) 発生・感染・免疫・神経等に関わる糖鎖研究
- (3) ヒト疾患に関連する糖鎖研究
- (4) 糖鎖データベースを利用する研究
- (5) 糖鎖関連データ解析を用いる研究(オミクス研究、機械学習を含む)
- (6) 糖鎖科学研究者の育成
- (7) 共同利用・共同研究拠点としての国内外機関との連携協力
- (8) その他 糖鎖に関連する研究

### 2. 利用可能なデータベースおよび機器設備

データベース・サーバ施設、共焦点レーザー蛍光顕微鏡、セルソーター、ラジオアイソトープ実験施設などが利用可能です。応募頂く研究に合わせて提案させていただきますので、受け入れ研究者とご相談下さい。

### 3. 連絡先一覧(受入相談窓口)

各研究分野の担当教員の連絡先(各専門分野 <https://www.soka.ac.jp/glycan/members/>参照)

西原 祥子 教授	shoko★≡soka.ac.jp
木下 聖子 教授	kkiyoko★≡soka.ac.jp
高瀬 明 教授	takase★≡soka.ac.jp
中嶋 一行 教授	nakajima★≡soka.ac.jp
坂部 創一 教授	sakabe★≡soka.ac.jp
篠宮 紀彦 教授	shinomi★≡soka.ac.jp
郷田 秀一郎 教授	goda★≡soka.ac.jp
樽谷内 晶 教授	togayachi★≡soka.ac.jp
藤原 和夫 准教授	fujiiwara★≡soka.ac.jp
伊藤 和義 講師	kazuyoshi★≡soka.ac.jp
細田 正恵 助教	mhosoda★≡soka.ac.jp
青木 英莉子 助教	eaoki★≡soka.ac.jp
畝見 達夫 教授	unemi★≡soka.ac.jp
池口 雅道 教授	ikeguchi★≡soka.ac.jp
伊藤 真人 教授	itomasa★≡soka.ac.jp
渥美 雅保 教授	matsumi★≡soka.ac.jp
川井 秀樹 教授	kawai★≡soka.ac.jp
笠松 大佑 准教授	kasamatsu★≡soka.ac.jp

※★≡は@に置き換えて入力してください。

#### 4. 放射線業務従事者申請書・RI 使用計画書の提出

各共同研究において、本研究所でラジオアイソトープ施設を使用される場合は、採択後、放射線業務従事者登録手続きが必要となります。

#### 5. 遺伝子組換え実験、レベル2以上の微生物を利用する実験、及び指定毒素を利用する実験

各共同研究において、本研究所で上記の実験を伴う場合は、採択後、創価大学遺伝子組換え実験・微生物安全委員会の審査を経て承認が必要になります。

#### 6. 各共同研究において、本研究所で動物実験を伴う場合は、採択後、創価大学動物実験委員会の審査を経て承認が必要となります。

#### 7. ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究

各共同研究において、本研究所で「ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究」を伴う場合、予め所属機関の倫理委員会等での承認が必要です。また、採択後、創価大学人を対象とする研究倫理委員会または創価大学生命科学倫理審査委員会、もしくは両委員会による審査及び承認が必要になります。共同研究申請の際、所属機関で承認された承諾書を提出して頂きます。

#### 8. ヒトゲノム・遺伝子解析研究

各共同研究において、本研究所で「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」を伴う場合は、予め所属機関の倫理委員会等での承認が必要な場合があります。また、採択後、創価大学人を対象とする研究倫理委員会または創価大学生命科学倫理審査委員会、もしくは両委員会による審査及び承認が必要になります。共同研究申請の際、所属機関で承認された承諾書を提出して頂くことがあります。

#### (共同研究関係事務)

創価大学 糖鎖生命システム融合研究所 事務室(理工学部事務室内)

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

TEL:042-691-9400 FAX:042-691-9311

メールアドレス:galsic★≡soka.ac.jp (★≡は@に置き換えて入力してください)